





| (ふりがな) | いがらまちづくりきょうぎかい | | | | | | |
|---------------------------|--|--|--|----|----|---|--|
| 名 称 | 伊賀良まちづくり協議会 | | | | | | |
| (ふりがな) | みやした ひろし | | | | | | |
| 代表者氏名 | 宮下 博 | | | | | | |
| ホームページ | | | | | | | |
| メールアドレス | igara@city.iida.nagano.jp | | | | | | |
| 基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標 | 伊賀良地区基本構想(2021～2026)「緑輝き 人と文化が行き交うまち 伊賀良」 1 人に自然に優しい土地利用 2 誰もが安心して暮らせる地域づくり 3 自然を大切に「地の利」を生かした産業づくり 4 香り高い文化の創造 5 心が通い合う地域づくり | | | | | | |
| 重点事業又は特徴ある事業や活動 | <p>【人に自然に優しい土地利用】～アップルロードりんご並木愛護の取組～ 中央道飯田ICのアクセス道路である国道153号バイパス、通称「アップルロード」の建設計画時に、当地区の農家の青年層からの発案で、街路樹としてりんごが植えられました。以来、35年以上にわたって、まちづくり協議会、伊賀良小学校、果樹農家など地区が一体となって管理、秋には小学生が地区民とともにりんごを収穫し、収穫祭を実施しています。</p> <p>【誰もが安心して暮らせる地域づくり】～自然エネルギーの有効利用～ 隣接する山本地区との統合中学校である旭ヶ丘中学校の生徒が自ら、校舎への太陽光発電施設の設置を発案し、両地区へ提案、3者で協議会を立ち上げ、市から認定を受け、平成27年度に工事が行われ、運用が開始されており、環境学習等の意識向上に役立てられています。</p> <p>【自然を大切に「地の利」を活かした産業づくり】～豊かな森林資源の活用～ 当地区は西側の山地に広大な森林を有しており、「西部山麓」と呼ばれています。飯田ICに近い「地の利」を活かして、森林資源の活用を図っており、特に沢城湖周辺は、これからを考える懇談会等を実施しながら、重点課題として活用を進めます。</p> <p>【香り高い文化の創造】～公民館活動～ 全世代がふるさとに誇りと愛着を持って暮らせるよう、特に小学校との連携を強化しながら、小学校校歌など地域に着目した学習と交流を推進しています。</p> | | | | | | |
| |   | | | | | | |
| NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと | 沢城湖周辺をはじめとした西部山麓一帯の今後の活用(指定管理など含め) | | | | | | |
| ボランティア募集希望の有無・内容 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | | 内容 | 条件 | ・ | |
| 内容 | 条件 | | | | | | |
| ・ | | | | | | | |

| | | |
|---------------------------|---|--|
| (ふりがな) | かなえちくまちづくりいいんかい | |
| 名 称 | 鼎地区まちづくり委員会 | |
| (ふりがな) | かいちょう まえだ ゆうじ | |
| 代表者氏名 | 会長 前田 雄二 | |
| ホームページ | https://hitokana.com | |
| メールアドレス | kanae-machi@mia.janisor.jp | |
| 基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標 | <p>【めざす将来像】 ～ 人・暮らし・文化が潤う 夢ある“かなえ” ～</p> <p>【めざすまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> I 10地区の魅力を生かし活力あるまちづくり II 誰もが豊かな心を持ち健康で生きがいを持てるまちづくり III みんなが支え合い安心して暮らせるまちづくり IV 景観と調和する潤いと快適なまちづくり V 明日のかなえを創る子どもを育むまちづくり VI 産業の振興と自然を活かしたまちづくり VII 地域に学び人と文化が輝くまちづくり | |
| 重点事業又は特徴ある事業や活動 | <p>○ 鼎地区パワーアップ事業 鼎地区では、特色ある地域づくりや人づくりを推進するため、地区独自の『パワーアップ事業』を実施し、自主グループの活動や事業、まちづくり委員会で実施がたい事業などに毎年助成を行っています。令和4年度は8団体9事業に143万5千円を助成する予定です。</p> <p>○ 世代間交流、子どもの居場所づくり・体験事業 鼎各地区に伝わる獅子舞などの伝統芸能を継承するとともに、世代間交流や体験学習の取組みを進めています。子どもの居場所づくりでは、コロナ禍で中止となった事業がある一方、七夕飾り付け(東鼎区)、子どもクリスマス会(下山区)、子ども納涼祭(上茶屋区)等各地区で感染症対策を工夫しての開催が見られました。</p> <p>○ 公民館事業 鼎公民館では子育て世代や子どもを対象とした事業に重点的に取り組むと共に、生涯学習事業や鼎全体で取り組む事業等、多彩な活動を行っています。小学生親子を対象とした「ずんずんず～ん隊」では、下伊那農業高校と連携し、農作業を通して小・中・高校生と大人が関わり合い学び合う機会として実施しています。学校・地域の協働であるコミュニティスクールの取組みとして、今年度より「鼎中学校ジュニアボランティアステーション」を発足し、中学生の主体的な地域への参加を促進させています。</p> | |
| |  |  |
| | 大豆の収穫 | 成人式の受付を中学生が担当 |
| NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと | | |
| ボランティア募集希望の有無・内容 | 内容 | 条件 |

| | | | |
|----------------------------------|---|---------------|--|
| (ふりがな) | かみさとちいきまちづくりいいんかい | | |
| 名 称 | 上郷地域まちづくり委員会 | | |
| (ふりがな) | きたはら しげみつ | | |
| 代表者氏名 | 会長 北原 重光 | | |
| ホームページ | | | |
| メールアドレス | kamisato@city.iida.nagano.jp | | |
| 基本構想・計画 事業計画等で目指す まちづくりの目標 | <p>目指す将来像「地域で育み支え合う 個性と魅力を生かした 活力ある未来を切り開く 新たな上郷地域の創造と挑戦」(2019～2023) ～6つの郷づくり～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域全体の結束力と住民自治の組織力向上の郷 ○活力に満ちた健康づくりの郷 ○地域で育み地域で支え合う福祉の郷 ○組織的な災害対応と安心安全で快適な郷 ○リニア時代を見据えた郷 ○地域を支える人づくり文化を尊ぶ郷 | | |
| 重点事業又は 特徴ある事業や活動 | <p>●リニア駅周辺整備の土木実施設計が公表され、12月22日は長野県駅(仮)の安全祈願・起工式が行われたことにより駅周辺関連工事も本格的な工事が始まろうとしています。コミュニティを維持した移転対応、地域コミュニティの場の整備、最大限の生活環境の保全への配慮等、住民不安を払拭するために地域住民に寄り添った対応を関係機関に強く要請しています。</p> <p>●野底山森林公園の管理運営は、リニア時代を見据えた地域密着型の公園づくりを目指し、トイレ新設や設備改修、管理棟を拠点とした公園活性化に向けた事業(散策、キャンプ場、マレットゴルフ場等)に取り組みました。</p> <p>●市長との懇談会では、自治組織の加入や維持存続をテーマに掲げ、行事への参加呼びかけや誰もが参加しやすい事業の工夫など課題解決に向け意見交換を行いました。</p> <p>●野底川小水力発電所事業は事業認可も受け、愛称も「もりデンこりき君」と決定しました。本格稼働に向けて工事が進んでいます。野底山森林公園の森林整備や森林空間の活用に向けた協議が始まりました。再生可能エネルギーの普及促進が地域の環境保全に深く寄与し、地域が低炭素社会の実現に向け推進してまいります。</p> | | |
| |  | |  |
| | オープン参加型 運動会 | | 再エネ活用 認定式・調印式 |
| NPO等他団体との連携 が可能なこと・したいこと | | | |
| ボランティア募集希望の有無・内容 | ○ | 内容 ・ 条件 | 野底山森林公園内の環境整備(草刈り、支障木剪定) |

| | | | |
|---------------------------|---|----|--|
| (ふりがな) | かみむらまちづくりいいんかい | | |
| 名 称 | 上村まちづくり委員会 | | |
| (ふりがな) | くまがい かねとみ | | |
| 代表者氏名 | 熊谷 兼富 | | |
| ホームページ | | | |
| メールアドレス | oideyokamimura@gmail.com | | |
| 基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標 | <p>『ちいさくともキラリと光る郷・かみむら』</p> <p>～ESD for SDGsへの挑戦～ ここにあり続けるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 若者等が定住できる郷づくり ◆ 誰もが健やかに安心して暮らし続けられる郷づくり ◆ 自然と歴史を活かして伝統文化を育む郷づくり | | |
| 重点事業又は特徴ある事業や活動 | <p>◆ふるさとの川づくり(アマゴの稚魚放流)</p> <p>環境教育事業としてふるさとの川「上村川」にアマゴ稚魚300匹を小学生が放流。山から出た水が川を作り、やがて海へ流れ込む。川や山をきれいにする事の大切さを学んでいます。</p>  <p>◆VR会議体験会</p> <p>VRゴーグルを使い、富山県立大学、松本大学が、遠方に居ながらバーチャル会議室に集まって会議を毎月開催しています。ZOOMとは違った感覚に驚きながら、どんな活用方法ができるか学習しています。</p>  <p>バーチャル会議室の様</p> <p>◆どんぐり隊まつりin winter</p> <p>どんぐり隊の活動を多くの人に知ってもらうことを目的に、地域内外の親子と交流をしました。地元の猟師さんから分けてもらって作った輪投げ、コーンホールなどをで楽しみました。お昼は七輪でお餅焼き。午後は、凧を作り飛ばしてみました。よく飛ぶ凧と飛ばない凧・・何が違うのか 楽しい冬の日になりました。</p>  <p>鹿の角の輪投げ</p> | | |
| NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと | | | |
| ボランティア募集希望の有無・内容 | 内容 | 条件 | |

| | | | |
|---------------------------|--|---------------|--|
| (ふりがな) | みなみしなのまちづくりいいんかい | | |
| 名 称 | 南信濃まちづくり委員会 | | |
| (ふりがな) | こんどう ちかお | | |
| 代表者氏名 | 近藤 力夫 | | |
| ホームページ | | | |
| メールアドレス | minamisoumu@city.iida.lg.jp | | |
| 基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標 | <ul style="list-style-type: none"> ○住み続けたい、住んで楽しい郷づくり <ul style="list-style-type: none"> ・住む人が輝き、にぎやかな遠山郷 ・安心安全に暮らせるまち 地域内の助け合い ・交流人口、関係人口の拡大を移住定住へつなげる ・三遠南信自動車道の開通を見据え、人を呼び込む取り組みを実施 | | |
| 重点事業又は特徴ある事業や活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域独自の移送サービスの検討(地域福祉プロジェクト) ・若者等が住み続けられる支援(地域格差、負担の軽減) ・移住定住に特化した体制づくり及び「南信濃1500委員会」の活動を開始 令和5年度の「やまざと親子留学」の受け入れ準備など 親子留学居住地周辺の竹やぶ、雑木の伐採作業 「遠山郷お試し住宅」の利活用と利用可能な空き家の片付け及び利用等 ・地域課題や遠山郷の将来をみんなで考える(遠山郷フォーラム※上村地区と合同開催) ・学校と地域が連携した地域人教育の推進 「和田宿にぎやかし隊」との連携 和田の寺子屋ほか ・南信州の新たな玄関口の整備 「遠山郷花街道事業」への取り組み(関係団体との横連携) ・地域振興の拠点施設「道の駅遠山郷」の今後のあり方の協議 ・ゲストハウス「太陽堂」、Uターンなどによる若者の活動支援、協力 ・地域おこし協力隊・遠山郷探検隊ほか若者グループ活動への支援と協力 | | |
| |   | | |
| NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等を支援対象とした移送サービス、助け合い ・生活支援サービス | | |
| ボランティア募集希望の有無・内容 | 有 | 内容 ・ 条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の不要物品の片付け作業 ・遠山川沿いの桜の手入れ作業、花街道整備事業による花木植栽地の維持管理作業 |